



議会だより

ていすかす

99号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2019.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧くださいませ

委員会だより

災害に対する備えは

総務・教育委員会

総務・教育委員会では、「防災・減災のまちづくりについて」を重点活動テーマとしています。去る7月20日には、鷺別小学校を会場として登別市総合防災訓練が行われました。

この訓練は、北海道胆振東部地震などの過去の災害を教訓に、市内全域で震度5強の地震が発生し、その後、大津波警報が発表された場合を想定したもので、「自助・共助・公助の大切さ」をあらゆる世代が参加・体験し「学ぼう防災」に重点がおかれました。

また、今回は避難所運営訓練も行われ、これまでの関係機関による訓練を見学するなどの展示型訓練に、実際に参加する体験型訓練を取り入れたことで、市民の防災意識も高まったと感じます。



▲登別市総合防災訓練の様子

本委員会と
しても、防災
訓練の成果を
踏まえ、より
一層の防災対
策の充実に向
けて取り組ん
でいきます。
(小栗)

高齢者世帯・子育て世代

生活・福祉委員会

本市で精力的に協働のまちづくりに取り組み、他市にも誇れる特徴的な2つの活動団体と、現状、今後の課題などについて意見交換をしました。

社会福祉協議会からは、第3期計画に入ったきずな計画の進捗よくや、受託業務の地域支え合い推進委員における人件費・職員数、介護予防事業などにおける課題提起をいただきました。

モモンガくらぶからは、多様な子育てプログラムの特徴を伺い、親の養育力の低下を指摘していました。

そのほか第3回定例会では、印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正、子どものための教育・保育給付に関する条例の一部改正、市営住宅使用料の不払いに関する訴訟上の和解の付託案件審査を行いました。また、民生委員・児童委員への表彰状などの伝達遅延の報告があり、委員会でも原因と対策などを市に確認しました。



▲登別市社会福祉協議会との意見交換会の様子

件審査を行
ました。また、
民生委員・児
童委員への表
彰状などの伝
達遅延の報告
があり、委員
会で原因と対
策などを市に
確認しました。
(千田)

現地視察と意見交換会

観光・経済委員会

カルルス温泉サンライバスキー場関係者3名と、「スキー場施設の現状について」、「収益をあげるための対策について」をテーマに、意見交換会をするともに、現地視察を行いました。現状の課題としては、昭和58年に設置された第1リフトの老朽化に伴い、更新を求める強い要望が挙げられました。

今後の対策として、インバウンド・修学旅行の誘客強化や、地元利用者の拡大などが挙げられました。

また、市は昨年度実施したスキー場の経営診断を踏まえ、今年度中に今後の経営戦略を策定しますの
で、今回の意見交換会
でいただいた意見などをもとに、さらなる調査と協議を続けていきます。
(宮武)



▲カルルス温泉サンライバスキー場現地視察の様子



(宮武)

令和元年第3回定例会

一般質問 議員13名が市政を問う



ごみ処理施設の運営は 二瓶 秀幸



不適物ごみの混入問題と、発火・発煙トラ

ブルの実態およびその対策の考えは。 答 充電式電池の破碎処理工程などで発火・発煙トラブルが増加している。現在、試行的に充電式電池を有害ごみに指定し、リサイクル処理を行い、ごみは家庭での分別徹底の呼びかけを図っていく。

児童虐待防止対策は 足立 知也



本市の児童虐待相談件数は。

28年度24世帯・児童数37人、平成29年度23世帯・児童数36人、平成30年度19世帯・児童数35人となっている。 答 地区民生委員・児童委員との意見交換会、児童相談所職員による学習会のほか、町内会へのパンフレット配布などの啓発活動で、児童虐待に対する関心や理解を訴え、地域で子どもを守るという意識の醸成に努める。

子どもの郷土愛の育成を 田中 寛志



子どもたちに、学校で地域の歴史、伝統、文

化を教えることで、自分の住むまちに郷土愛が生まれる。 それは、やがて地域を守る力となることから、①小学校の社会科副読本「のぼりべつ」のさらなる充実に関して、②それを指導する教員が地域理解を深め、情熱を持って指導できるように、新人・転入教員の地域研修の充実に関して、現状を確認した。それぞれの今後の予定は。

消防団の装備の充実を 村井 寿行



災害において、市民の生命、財産を守るた

めに真っ先に現場に駆けつけるのは、消防団の方々が、消防隊は充実した装備を使い、訓練で技術の習得に励んでいる。 一方、消防団の団員は、消防隊のように充実した装備はなく、安全に活動できるような状況となっていない。 装備の充実が必要だと思つが、どのように考えているのか。

公共施設集約の考えは 井野 正臣



仮称登別市情報発信拠点施設案において

は、登別市婦人センター・登別公民館などの機能を、新たな情報発信の場に集約している。 今後、本市の保有する公共施設やコミュニティ施設のマネジメントを考えた際、今回の拠点施設のように、1つの建物の中に、各施設を集約していく考えが重要と思われるが、本市の考えは。

交通安全の推進状況は 千田 文孝



第3期基本計画において交通安全の推進を

掲げ、市は啓蒙活動や施設整備を目標に取り組んでいます。全国で高齢者の運転による人身事故や、無謀な運転、あおり運転による事故が発生する中、本市の事故の発生状況と現状の取り組みを質問しました。 毎年同じ活動では効果が薄いと感じ、活動の組み合わせや、マナー向上の取り組みを提言しました。

【答】 令和12年度以降のごみ処理施設のあり方を、令和3年から4年に決定する。

【答】 令和12年度以降のごみ処理施設のあり方を、令和3年から4年に決定する。

【答】 現在、小学校3・4年生に配布している社会科副読本の内容の充実に取り組み、教員の一層の地域理解と指導および研修の充実を努めていく。

【答】 安全に活動できる装備の充実が必要だと考えている。 今後は、夜間活動が出来るよう、キャップライトの導入を考えている。

【答】 現在保有している全ての公共施設を、今後引き続き維持・更新していくことが困難であることから、新たに公共施設を設置する場合は、原則として複合化・集約化を図る。

【答】 通学路などは、滋賀県大津市の例から、もう一步踏み込んだ危険箇所把握と、減少していない80歳以上の事故抑制として、運転免許証返納の取り組みを提言しました。

【二瓶議員】 そのほかの質問：オープンデータの取り組み 【村井議員】 そのほかの質問：選挙での有権者が投票しやすい環境づくりについて 【千田議員】 そのほかの質問：公職選挙における選挙啓発の取り組みと投票所について

子育て支援充実を

佐々木 久美子



【質】保育の無償化に伴う給食費の対応は。

【答】3歳以上児の給食の副食費は、公立保育所では月額4千500円徴収する。また、主食費は、無償化以前から保育料には含まれず、負担軽減を図るため市独自の補助を実施し、保護者から徴収していないが、10月以降も当面の間、実施する。

【質】待機児童数と必要な保育士は。

【答】45名の待機児童に対し、11名の保育士が必要となる。

【質】今後は保育士の処遇改善を含めた取り組みが重要では。

【答】財政負担を伴う取り組みは難しいため、これまでの取り組みを充実する。

スポーツと地域振興

成田 昭浩



【質】スポーツの活性化に

ついて、①スポーツコミッションやDMOなど、組織体制の整備②スポーツ関係団体の役割・意識の再構築③行政窓口の一元化などのポイントを主眼に市の見解をたできました。

市からは、一流選手チームによるスポーツ教室や、強化合宿受け入れを積極的に行っているが、ツーリズム、コミッションなどの趣旨となっていない。関係団体・機関との協力体制の構築や経済循環の仕組みづくりなどに課題がある。スポーツに特化した窓口一元化は難しく、目的に応じた窓口で対応するとの見解が示されました。

また、独自の調査として、登別汐見坂から紅葉合の約6kmの間、3か月間にわたり道路脇のごみの分類を行った結果、8割はプラスチック製品、ビニール、紙くずなどの可燃物、残りは缶などであること、また、その内容は飲食物の容器などであることがわかりました。これらの防止策として、従来のごみ拾い、街頭啓発と併せ、小・中学校での実践的な教育を充実させるべきとの提言を行いました。

市内の不法投棄の現状

若木 康夫



【質】市内の不法投棄の現状

製品が投棄されており、これらに対する現状把握や防止策について、質問しました。

また、独自の調査として、登別汐見坂から紅葉合の約6kmの間、3か月間にわたり道路脇のごみの分類を行った結果、8割はプラスチック製品、ビニール、紙くずなどの可燃物、残りは缶などであること、また、その内容は飲食物の容器などであることがわかりました。これらの防止策として、従来のごみ拾い、街頭啓発と併せ、小・中学校での実践的な教育を充実させるべきとの提言を行いました。

また、独自の調査として、登別汐見坂から紅葉合の約6kmの間、3か月間にわたり道路脇のごみの分類を行った結果、8割はプラスチック製品、ビニール、紙くずなどの可燃物、残りは缶などであること、また、その内容は飲食物の容器などであることがわかりました。これらの防止策として、従来のごみ拾い、街頭啓発と併せ、小・中学校での実践的な教育を充実させるべきとの提言を行いました。

市民後見人の状況は

小栗 義朗



【質】高齢者の増加に伴い、介護認定者も増え

ており、その半数以上が認知症高齢者である。認知症は、判断能力の低下を招くことから、社会生活において必要な手続きが行えないといったことが起こる。

これら生活上の支援をしてくれるのが市民後見人だが、本市では何名が後見人として選任されているのか。

【答】本市には市民後見人はいない。なお、室蘭市民では後見人候補者が3名、後見人として1名選任されている。

【質】今後の本市での後見人育成の取り組みは。

【答】室蘭成年後見支援センターを、共同運営する2市3町と連携して普及促進に努める。

共生型バス実証実験へ

辻 弘之



【質】市が行った市民アンケート調査にて、住民

の8割がマイカー移動であることが分かっていいます。そのため、今後増えてくる運転免許証自主返納者へのサポートが、重要な政策課題になると考え質問しました。市からは、高齢者のみならず、障がいのある方、子どもや観光客まで、さまざまな方が利用できる、コミュニティバス導入にむけた実証実験を行う方針が示されました。

地域公共交通網形成計画の策定を前提に、年内に地域公共交通会議を設置して、交通政策に関する具体的な課題把握や、解決策について協議が行われることになりました。

また、家事、通学以外の非労働人口削減への取り組みについて質問しました。本市ではジョブガイドのほりべつを設置、若年者等キャリアアカウンセリング事業を実施中とのことですが、若年無業者対策のさらなる強化の必要性を訴えました。

人口減少対策の強化を

今野 幹大



【質】本市における人口減少の現状と対策を質問

しました。自然減・社会減ともに継続するものの、社会減に関して、子育て世帯の転入により、人口減少の緩和に繋がっているとの答弁に対し、人口減少への危機的な状況は継続していることを踏まえて、引き続きこれまで以上の対策・取り組みの必要性を訴えました。

また、家事、通学以外の非労働人口削減への取り組みについて質問しました。本市ではジョブガイドのほりべつを設置、若年者等キャリアアカウンセリング事業を実施中とのことですが、若年無業者対策のさらなる強化の必要性を訴えました。

また、家事、通学以外の非労働人口削減への取り組みについて質問しました。本市ではジョブガイドのほりべつを設置、若年者等キャリアアカウンセリング事業を実施中とのことですが、若年無業者対策のさらなる強化の必要性を訴えました。

不法投棄防止の強化を

米田 登美子



【質】本市では、登別市環境基本条例や、不法

投棄防止条例などがあ

るが、不法投棄が根絶しない現状を踏まえ、市街地や鳥獣保護区などにおいて、さらに取り組みの強化を図る考えは。

【答】関係団体との連携を緊密にして監視するほか、タバコのポイ捨てや、空き地の所有者に対する周知・啓発は、公共施設でのポスター掲示を検討する。

また、家事、通学以外の非労働人口削減への取り組みについて質問しました。本市ではジョブガイドのほりべつを設置、若年者等キャリアアカウンセリング事業を実施中とのことですが、若年無業者対策のさらなる強化の必要性を訴えました。

【成田議員】※DMO…観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと
【若木議員】そのほかの質問：廃止済みの老朽施設等の解体、除去について
【小栗議員】そのほかの質問：子どもの貧困対策について
【米田議員】※2市3町…登別市・室蘭市・社管町・洞爺湖町・豊浦町のこと
そのほかの質問：指定管理者制度について
※不法投棄防止条例…不法投棄、ポイ捨て及びペットのふんの放置防止条例の略

予算・決算委員会（令和元年度 補正予算を審査）

幌別東保育所の整備時期の判断は

質 幌別東保育所の整備費用347万9千円は、当初予算措置されていなかったが、整備の判断時期と内容は。

答 令和2年4月から保育業務を委託する計画であり、きれいに整備した上で委託することが賢明であると判断した。

外壁のひび割れ、らせん階段のさびの除去や塗装および窓の建て付け不具合の修繕などを行う。

工事でトラックなどの重機が入ることから、保育への影響と事故が無いよう、安全な作業への配慮を確認しました。

（千田）

幼児教育と小学校教育を円滑に

質 幼児教育と小学校教育の接続の円滑化事業の目的は。

答 幼児教育と小学校教育関係者お互いの教育内容の理解を進め、効果的な指導を実現することを目的とする。

そのため、教育活動の相互参観、指導者や子どもとの交流促進と関係強化などを通じ、それらをもとにしたスタートカリキュラムの編成や、推進リーダーによる低学年の授業サポート・指導方法の研究・効果検証など、幼児教育と小学校教育の接続に関する整備の取り組みを進める。

（井野）

「防災に関する講演会」を開催します

議員研修会として次のとおり開催します。多くの市民の方の参加をお待ちしています。

1. 開催日：令和元年11月18日（月）
2. 時間：15時～17時
3. 場所：市民会館・大会議室
4. テーマ：過去の災害から学ぶ これからの防災
5. 講師：室蘭工業大学シニアプロフェッサー 河内邦夫氏
6. 主催：市議会議員会
7. 事前の申し込みは不要です。



▲昨年度開催の議員研修会の様子

国会・政府に5件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。令和元年第3回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

海洋プラスチックごみを抑制するシステムの確立を求める意見書	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
水産業の体質強化を求める意見書	太陽光発電の適切な維持管理等に向けた制度設計と運用を求める意見書
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	

議会を傍聴しませんか

令和元年第4回定例会は、12月6日（金）から開会する予定です。
本会議や委員会は、自由に傍聴することができます。
第3回定例会では、延べ13名の方が傍聴されました。
紙面ではお伝えできない議会や議員の生の姿を見聞かれますので、ぜひお越しください。

傍聴の際の意見・感想を受け付けます

平成31年第1回定例会から、意見箱を傍聴受付と本庁舎1階に設置しています。意見や感想などをお寄せください。

インターネットでも議会中継をご覧ください

議会に足を運ぶことができない方も、インターネットで本会議や委員会の生中継、過去の録画中継をご覧ください。パソコンで市議会ホームページにアクセスし、「議会中継」のリンクからご覧ください。

▶問い合わせ 議会事務局（☎9220）